


 民衆の声
ボイス

VOICEよこはま

 公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 671-3023 FAX 681-2060 <http://www.yhkomei.com/> E-mail:shikai@yhkomei.com

《7月16日告示、7月30日投開票》

横浜市長選挙で 林文子市長を推薦

「公明党提案の政策実現」を高く評価！

推薦の決定に際して、公明党横浜市議員団からの提案や要望への取り組み状況などを検証しました。

その結果、小児医療費助成の拡充や市立中学校昼食「ハマ弁」の全校実施をはじめ、防災・減災対策、高齢・障がい者福祉の推進など、公明党市会議団の提案や要望が実施または実施の方向で検討されていることがわかりました。

今回の推薦にあたっては、8分野からなる政策協定を結び、その実現に向けて取り組んでいくことを互いに確認しました。



はやし ふみこ 林 文子 プロフィール

1946年 東京都生まれ
 1965年 都立青山高校卒業
 1965～ 東洋レーヨン株式会社(現東レ)、
 1976年 松下電器産業株式会社(現パナソニック)等勤務
 1977年 ホンダオート横浜株式会社入社後、ホンダクリオ神奈川北株式会社に転じる
 1987年 BMW 株式会社東京事業部(現 BMW 東京)入社
 1993年 BMW 東京株式会社 新宿支店長
 1998年 同社 中央支店長
 1999年 ファーレン東京株式会社 (現フォルクスワーゲンジャパン販売株式会社)代表取締役社長
 2003年 BMW 東京株式会社 代表取締役社長
 2005年 株式会社ダイエー代表取締役会長兼 CEO
 2008年 日産自動車株式会社 執行役員
 東京日産自動車販売株式会社 代表取締役社長
 2009年 横浜市長
 2013年 横浜市長(2期目)

- 【政策協定 8つの分野】
- ① 災害に強いまち・ひと・地域づくり
 - ② 子育て支援と教育の充実
 - ③ 医療と福祉の充実
 - ④ 横浜経済の活性化・雇用の促進
 - ⑤ 文化・芸術・観光施策の推進
 - ⑥ 都市基盤整備の推進
 - ⑦ 環境施策の推進
 - ⑧ 行財政改革の推進



林文子市長に推薦状を手渡す公明党市議団

公明党市議団が提案し 実現した中学校昼食「ハマ弁」



本年1月より、全市立中学校において、栄養バランスのとれた温もりのある「ハマ弁」と「家庭弁当」のどちらも選択できる昼食の環境が整いました。

公明党市議団は、平成3年度から中学校昼食の改善に取り組み、スクールランチ方式の昼食を提案し、「ハマ弁」として実現しました。今後、さらなる充実をめざします。

<ハマ弁>

1. メインのおかずを2種類から選べます。
2. ご飯の量を選べます。
3. ご飯と汁物が温かい状態で提供されます。
4. ご飯・おかず・汁物セットで390円です。



- 汁物と牛乳は単品で注文できます。
- 事業者が作成した献立を、教育委員会の栄養士が管理します。
- 注文はパソコンやスマートフォンからできます。お支払いはクレジット、コンビニ端末又はファクスでの事前決済となります。学校で現金のやり取りはありません。

皆さまの、いちばん近くで動く、働く。横浜市会公明党です。 新しい構成により議会がスタート

 <p>仁田 昌寿 (南区) 副委員長 ● 国際・経済・港湾委員会 ● 大都市行財政制度特別委員会 副委員長</p>	 <p>和田 卓生 (旭区) 特別委員会 ● 監査委員 ● ことば青少年・教育委員会 ● 健康づくり・スポーツ推進 特別委員会</p>	 <p>尾崎 太 (鶴見区) 政務調査会事務局長 ● ことば青少年・教育委員会委員長 ● 観光・創造都市・国際戦略 特別委員会 ● 市会運営委員会理事</p>	 <p>望月 康弘 (港北区) 副委員長 ● 健康福祉・医療委員会 ● 基地対策特別委員会</p>	 <p>竹内 康洋 (神奈川区) 副団長 ● 市民・文化観光・消防委員会 ● 大都市行財政制度特別委員会</p>	 <p>斎藤 真一 (都筑区) 副団長 ● 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会 ● 健康づくり・スポーツ推進 特別委員会 ● 市会運営委員会副委員長</p>	 <p>斉藤 伸一 (保土ヶ谷区) 副団長 ● 建築・都市整備・道路委員会 副委員長 ● 観光・創造都市・国際戦略 特別委員会</p>	 <p>高橋 正治 (緑区) 団長 ● 政策・総務・財政委員会 ● 基地対策特別委員会 ● 神奈川県後期高齢者医療 広域連合議会議員</p>
 <p>竹野内 猛 (金沢区) 副委員長 ● 健康福祉・医療委員会 ● 減災対策推進特別委員会</p>	 <p>安西 英俊 (港南区) 副委員長 ● 水道・交通委員会副委員長 ● 減災対策推進特別委員会</p>	 <p>中島 光徳 (戸塚区) 特別委員会 ● 建築・都市整備・道路委員会 ● 観光・創造都市・国際戦略 特別委員会 ● 市会運営委員会</p>	 <p>行田 朝仁 (青葉区) 委員 ● 市民・文化観光・消防委員会 委員 ● 健康づくり・スポーツ推進 特別委員会</p>	 <p>福島 直子 (中区) 副委員長 ● 政策・総務・財政委員会 副委員長 ● 観光・創造都市・国際戦略 特別委員会</p>	 <p>源波 正保 (泉区) 副委員長 ● 水道・交通委員会 ● 大都市行財政制度特別委員会 ● 神奈川県後期高齢者医療 広域連合議会議員</p>	 <p>加納 重雄 (瀬谷区) 議会議員 ● 国際・経済・港湾委員会 ● 減災対策推進特別委員会 ● 神奈川県内広域水道企業団 議会議員</p>	 <p>加藤 広人 (磯子区) 副委員長 ● 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会 ● 基地対策特別委員会</p>

平成30年度 予算編成に向け 各種団体との政策懇談会を開催



公明党市議団と市民団
体や業界団体代表の意見
交換の場である「政策懇
談会」を開催しました。
参加した33の団体から
寄せられた様々な要望や
提案は、来年度の予算要
望に反映するほか、市議
団の今後の施策に活かし
ます。(6月12日～16日)

日々の政務活動から

学校施設へ夜間照明の設置を

夜間照明施設の設置が進む静岡市の学校を視察しました。
市立小中学校の90%にあたる121校で設置され、年間約47万人が利用しています。地域スポーツだけでなく、消防団の訓練や熱中症対策としての夜間グラウンドゴルフなど、夜間照明の設置により、地域住民の様々な活動拠点としての役割を担っています。
横浜市は、環境施策の意見交換や横浜市の環境教育プログラムへの取組推進など、ITTOとの連携を進めています。(5月31日)



市立城北小学校での照明設置状況等を確認

横浜港の国際競争力強化へ

国際競争力強化のため整備を進める日本最大のコンテナターミナルの南本牧ふ頭や山下ふ頭などを視察すると共に、大さん橋では、クルーズ船の誘致促進について港湾関係者と意見交換を行いました。
国と横浜市が一体となつて戦略的な取り組みを加速します。(5月8日)



横浜市内にある

国際機関との連携

■ 国連食糧農業機関(FAO)
食糧事情の改善を通じて、世界経済の発展や飢餓からの解放を目指す国連専門機関であるFAOのボリコ所長と食品ロス削減について意見交換を行いました。今回の訪問を機に、FAOと連携し、食品ロス削減やフードバンク等の取組みを進めます。(4月4日)



■ 国際熱帯木材機関(ITTO)

国際熱帯木材協定に基づいて設立された国際機関であるITTOの新事務局長ゲルハルト・ディタレ氏を表敬訪問。市議団は、環境施策の意見交換や横浜市の環境教育プログラムへの取組推進など、ITTOとの連携を進めています。(5月31日)



「ヘルプマーク」の普及と周知を!

区役所で配布が始まっています。



外見からは分からなくても援助や配慮を必要とする方が周囲にそのことを知らせるための「ヘルプマーク」の配布が、3月22日から横浜市内の各区役所(高齢・障害支援課)で始まりました。

援助や配慮が必要な方とは、例えば義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など様々な状況があります。

「ヘルプマーク」は、免許証くらいの大きさで、赤地の樹脂素材に白い十字とハートが描かれています。

「ヘルプマーク」を身につけた方を見かけた時には

「電車・バスの中で、席を譲る」「突発的な出来事の際には声をかける」「災害時には安全の確保に支援する」など、思いやりのある行動をしていただければとの思いがこもっています。バッグなどに取り付けることができ、また、片面にシールを貼り名前や緊急連絡先など伝えたい情報を記入することもできます。

この「ヘルプマーク」は東京都議会公明党の推進で、2012年に東京都が採用したとのことです。

これまで、横浜市当局への要請や市会本会議の一般質問で取り上げるなど、公明党横浜市議員団は横浜市での円滑な配布実施に取り組んできました。

今後は、「ヘルプマーク」を身に付けている方の周囲の皆様がその意味を理解できるよう周知に努めていきます。



公明党横浜市議員団
南区政務調査事務所 所長
横浜市議員

仁田まさとし



仁田まさとし 検索



←メルマガの登録はこちらへ



横浜市臨時福祉給付金の申請は済みましたか?

平成26年4月の消費税率引き上げに伴う、所得の少ない方への影響を緩和する臨時福祉給付金を受け取るには申請が必要です。

支給対象者

平成28年度の市民税が非課税の方。

対象外

- あなたを扶養している方が課税者の場合
- 生活保護の受給者である場合

支給額

一人につき1万5千円。

(支給は4月以降1回限りです)

確認ジャ。



申請期限

平成29年9月6日まで。



お問い合わせ

横浜市臨時福祉給付金専用ダイヤル

Tel: **0120-391-370**



横浜市コールセンター ~便利な暮らしの情報ガイド~



Tel. **045-664-2525** Fax. **045-664-2828**

●時間 / 8:00 ~ 21:00 (土・日・祝日を含む毎日)

●Eメール / callcenter@city.yokohama.jp